

明日の日本 生活が第一

～ 協同・連帯 共生・安心 ～

衆議院議員 民進党静岡県第3区総支部長



小山のぶひろ 氏に訊く

前原新体制がスタート。民進党再生のとき！

九月一日、民進党代表選が行われ、前原誠司衆議院議員が新代表に選出されました。今回の代表選では「どちらがより民進党の将来ビジョンを描いているか」を競い合ったと思います。前原さんも枝野さんも「さきがけ」の出身。枝野さんが二十年前「前原さんと人間関係や利権などと無縁で、党首選挙や国会論戦できるようにしなければいいですね」と言ったことをご両人にお話ししました。お二人の長所を生かし合って新しい民進党を創っていただきたいと思えます。また、今回は、複数のグループから同時多発的に「二人の関係がおかしくならないようにフォローしよう」という声が上がりました。ようやく民進党の新生・再生の機会が訪れたと思います。

○大島敦幹事長を全力で支える

九月五日、大島敦衆議院議員が幹事長に就任いたしました。大島さんは、私も設立メンバーである「素交会」の会長で、鹿野道彦先生の愛弟子です。私は勝手に「ミスターいぶし銀」と呼んでいます。ふらつと居酒屋に誘っていただいたり、私が落選中の二〇一三年には、磐田のミニ集会にわざわざお越しいただいたこともありました。私が党内でもっと活躍できるように、私の知らないところで働きかけてくださったこともありました(後で働きかけられた議員や新聞記者から聞きました)。華々しく活躍する同期をフォローし続けてきたような方です。このような無私で、配慮のある大島議員だからこそ、党内をまとめていけると思います。私は、幹事長人事の決定前に、「理想の実現には権力が必要な時もある。

いつもお話になられる党内運営の理想を実現するためにも幹事長をお引受けすべき」と意見具申しました。今まで縁の下で支えてきた経験と実力を活かし、いよいよ「地上の星」が天空の星となつて、党を引っ張る時がきたのです。大島さんの周囲には、鹿野道彦先生、篠原孝議員、古川元久議員、原口一博議員など党内最大の素交会がついています。私も素交会の一員として全力でお支えします。

○離党の脅しに屈することなかれ

党内に離党を脅しにしてよいポストを得ようとする議員がいると新聞報道等で仄聞します。今まで不当に不遇であったり、お考えや政策が全く取り上げられなかった方々、いわゆる「保守系」といわれる方々がおつしやるのはまだわかるのですが、活躍の場を十分に与えられた、ポスト欲しさの議員もいると思われれます。他国の脅しに屈しないのと同様に、このような脅しには毅然と対応すべきです。そして、縁の下で頑張ってきた人がしっかりと評価される、一隅を照らすものが国宝として評価される党を作っていかなければなりません。そのようなブレない姿勢があつて初めて、党は強くなり、国民の信頼を得ていくことになると思います。ハンニバルのアルプス越えでは、十万人いた兵士が二万人に減ってしまったとのことでした。それでもハンニバルはローマを相手にいくつもの勝利を収めました。こんな苦しい時でも頑張っている公認候補予定者の皆様に離党者はいません。数を求めすぎず、信念と思いの強い政党に脱皮できるチャンスです。

衆議院議員 小山展弘